

施工業者様用

〈施工説明書〉

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

☎ 0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

IKHLF57-T
IKF-TC/TN IHF-TC/TN
ILF-TC/TN天井ジャスト 片引き戸・引き違い戸・
引き分け戸・(上吊り)専用枠材

ピノアース 固定枠155mm幅・170mm幅

[標準] 両側ソフトクローズ

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を
よくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

両側ソフトクローズのトリガー位置が変わりますので、トリガー取付位置を必ず確認してください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の
傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣
化が進む原因となります。

・ビスはビス穴に取り付ける。

ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原
因となり危険です。

・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。

インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそ
れがあります。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リ
フォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留
しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気
を行うようにしてください。

・補強の飼木(現場調達)を入れる。

ソフトクローズ仕様の際は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調
達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれ
があります。

・躯体に欠点がないことを確認する。

枠材固定のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、枠材が確実に固
定されず、はずれてしまう原因となり危険ですので、強固に固定できるよう下穴や
下地材を入れてください。

・同梱の金具を使用する。

本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

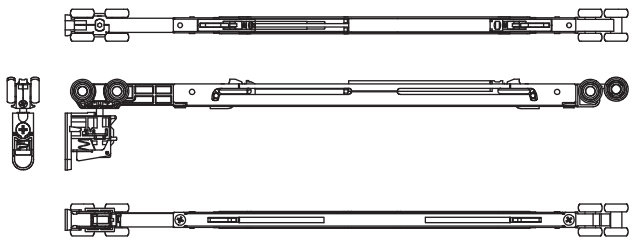
お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット							
部材名		鴨居 (クロス下地)	鴨居 (クロス下地)	縦枠 (戸先側)	縦枠 (戸尻側)	中方立	上吊 レール
							
入 数	片引き戸	1本	—	1本	1本	1本	1本
	引き違い戸	—	1本	2本	—	—	2本
	引き分け戸	1本	—	—	2本	2本	1本
	4枚引き違い戸	—	1本	2本	—	—	2本
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	—



トリガー本体

ビスセット(枠本体セットに同梱)								
袋の色			赤	赤	赤	黄	黄	透明
部材名			木ダボ	組み立て ビス	下枠固定 ビス	躯体接合 金具ビス	六角レンチ	クッション キャップ
			 6mm 35mm	 62mm φ3.8mm	 25mm φ3.5mm	 47mm φ3.8mm	 7mm L50mm	 φ16
セット品番								
入 数	片引き戸	ZYMK02-□	2本	6本	5本	10本	1本	8個
	引き違い戸	ZYMH02-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個
	引き分け戸	ZYML02-□	2本	8本	9本	12本	1本	8個
	4枚引き違い戸	ZYMH02-□	2本	8本	9本	11本	1本	8個
備 考 (部材品番等)			—	—	使用しません	枠と躯体の 固定に 使用できます。	使用しません	—

金具セット【オプション:両側ソフトクローズ】									
部材名									
セット品番									
入 数	片引き戸	JKW-PE	1個	1個	1個	—	6本	1	2
	引き違い戸	JHW-PE	2個	2個	2個	—	12本	2	4
	引き分け戸	JLW-PE	2個	2個	2個	1個	12本	2	4
	4枚引き違い戸	JIW-PE	4個	4個	2個	2個	24本	4	8
備 考 (部品品番等)			ZYTF21	ZYTSG21	ZYTNC01	ZYTLS21	ZYTA01	ZYTSCW21	ZYTTG21

引き手方向の確認

片引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。

※片引き戸の場合のみ。

右引き

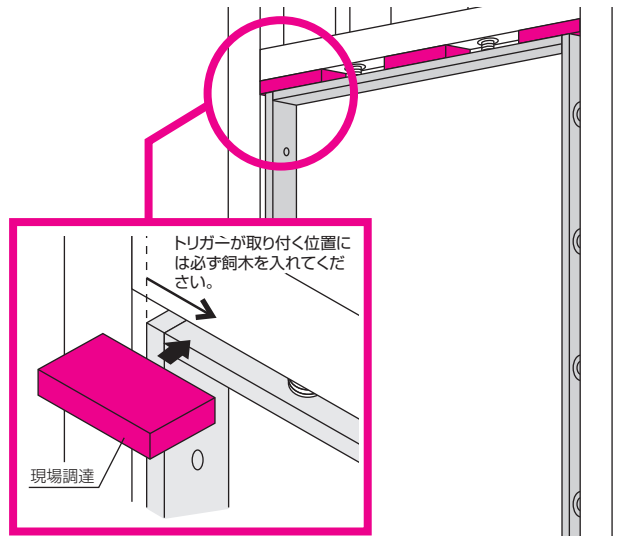
左引き

- 片引き戸 施工…4ページに進んでください。
- 引き違い戸 施工…8ページに進んでください。
- 引き分け戸 施工…12ページに進んでください。
- 4枚引き違い戸 施工…16ページに進んでください。

必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木（現場調達）を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。

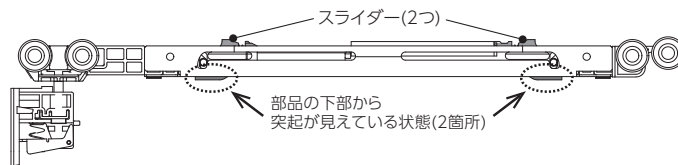


ソフトクローズ付き吊り車【施工注意事項】

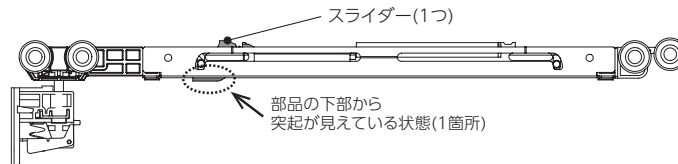
レールに挿入する前に「正常状態」であることを確認してください。
「エラー状態」である場合は、スライダーを動かし「正常状態」にしてから取り付けください。

正常状態

両利きタイプ



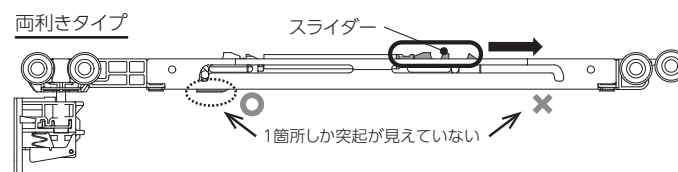
片利きタイプ



※片利きタイプはスライダーが「左側」にしかありません。

エラー状態

「カチッ」と音がするまでスライダーを引っ張ると「正常状態」になります。



片利きタイプの 場合

※両利きタイプと動作は一緒です。イラストは一部異なりますが、右図と同じようにスライダーを動かしてください。



ソフトクローズ機能復帰方法 扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。
エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。



扉を動かして機能が作動することを確認してください。
復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。

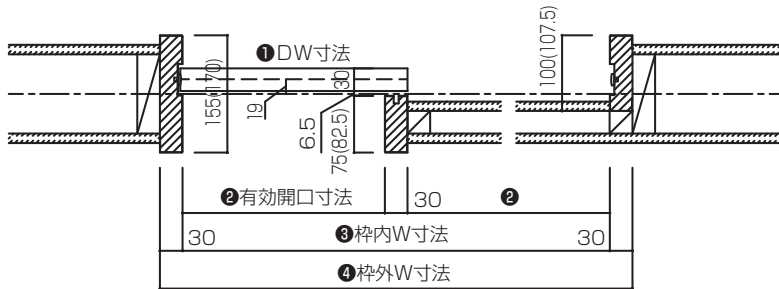
【片引き戸】納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

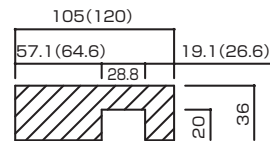
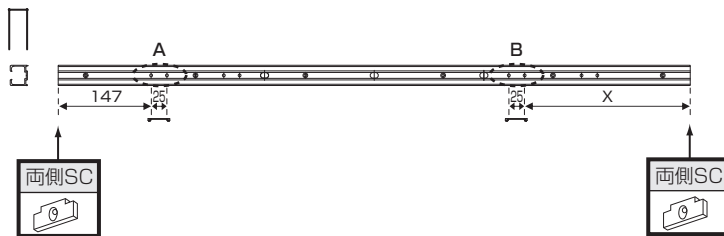
■ 枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)

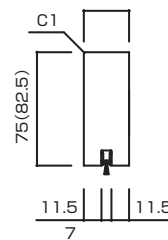


① DW寸法	900	810	713	583
② 有効開口寸法	867	777	680	550
③ 枠内W寸法	1,764	1,584	1,390	1,130
④ 枠外W寸法	1,824	1,644	1,450	1,190
X寸法	579	489	392	262

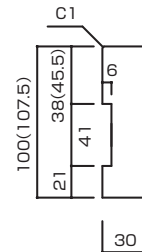
■ レール詳細図



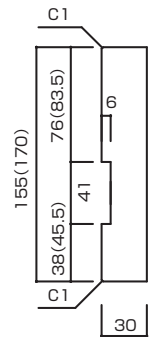
鴨居(クロス巻込枠)



中方立



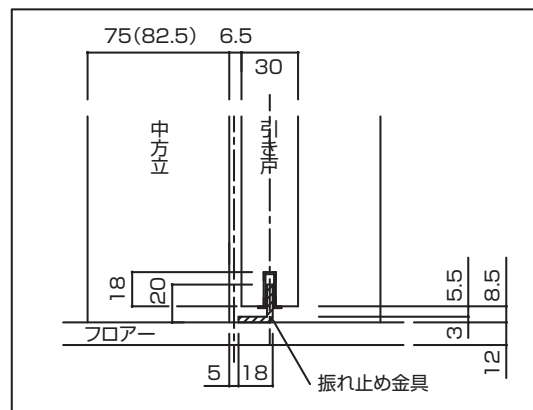
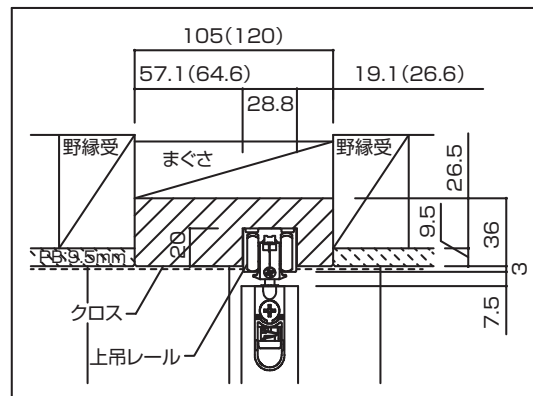
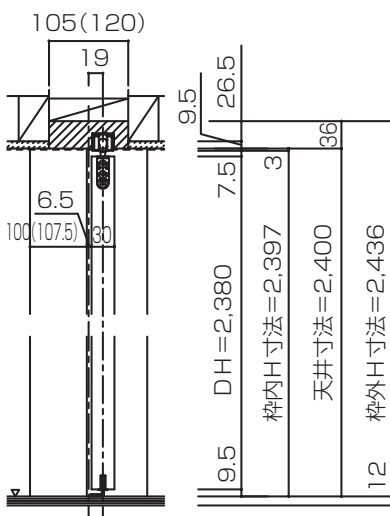
縦枠(戸尻側)



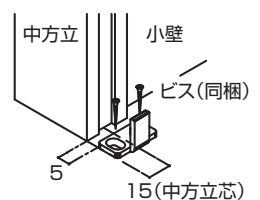
縦枠(戸先側)

縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具(床付け用)の取り付け位置



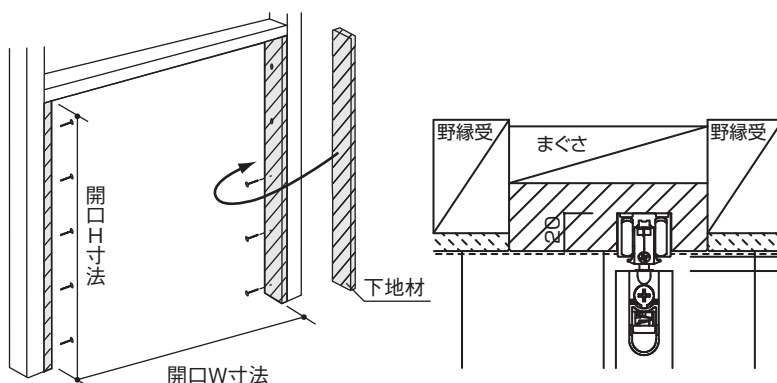
※図は右引きRL)の場合

施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



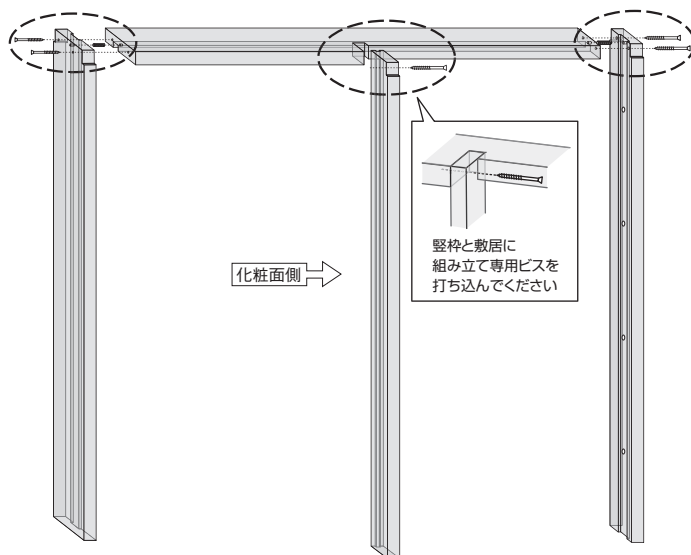
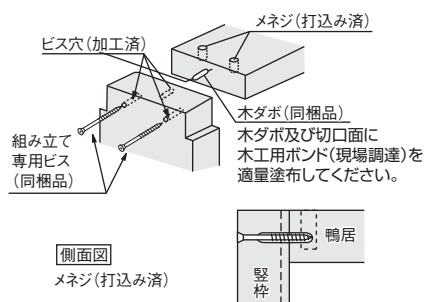
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

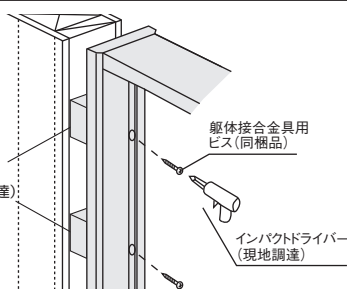
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



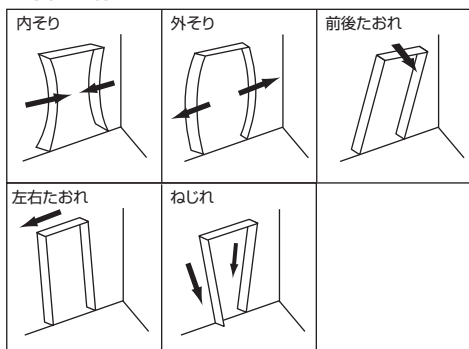
3 枠材の固定と建て付け調整

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

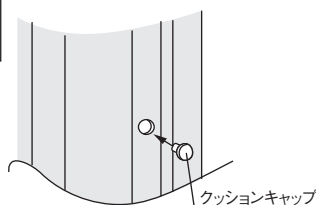
開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ねじれを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。



※ 下記の様なことがないようご注意ください。

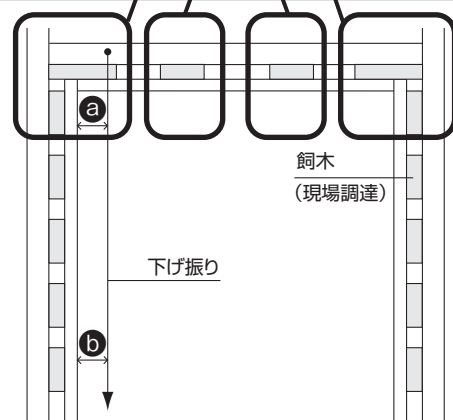


縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

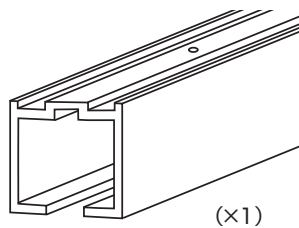


水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

4 鴨居レールの取り付け

 施工には必ず付属の部品を使用してください。

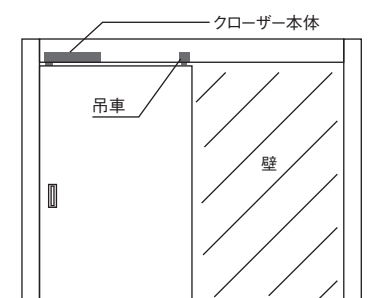
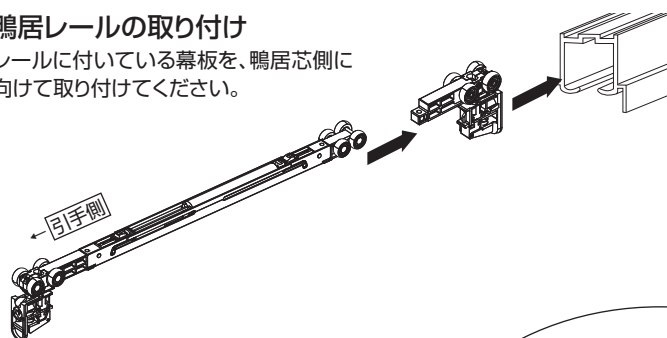
■鴨居レールの取り付け



両側ソフトクローズ 仕様

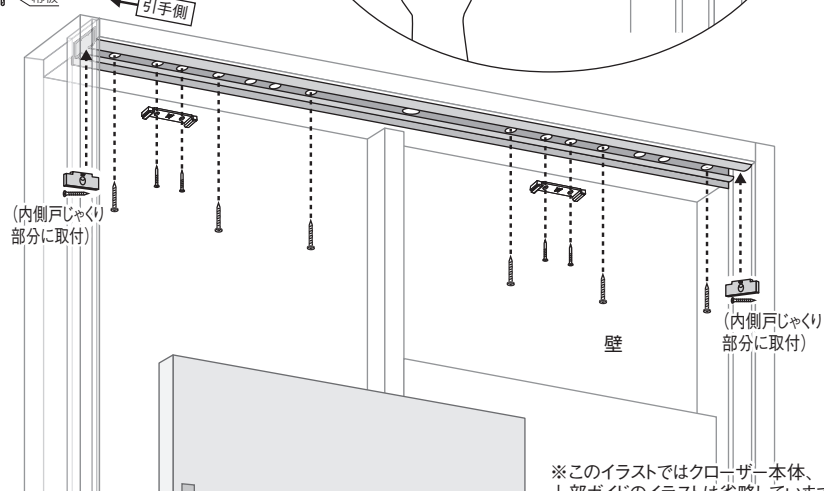
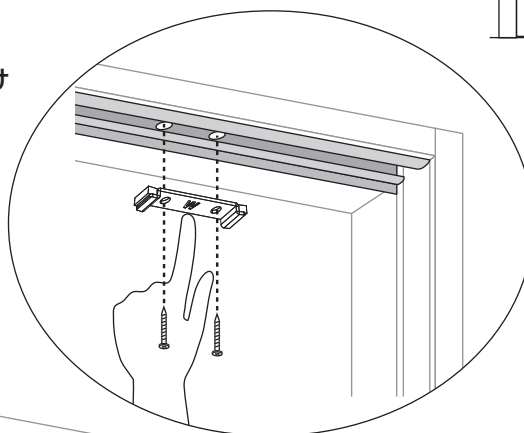
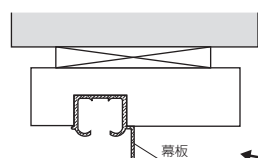
①鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



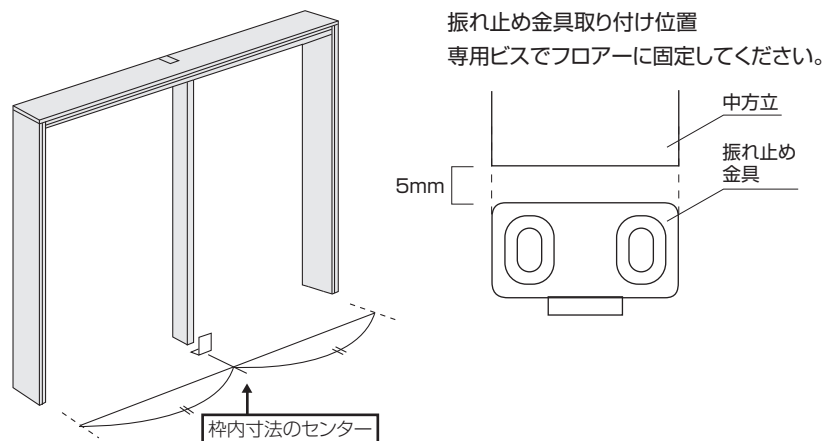
②クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体を
レールに挿入してから
レールを鴨居に
固定してください。



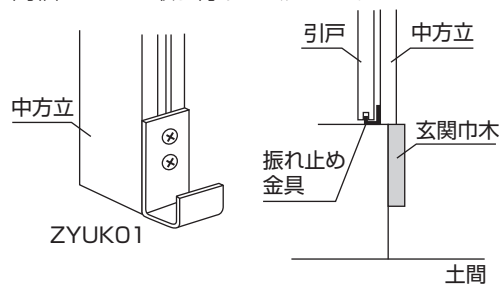
※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



上吊り中方立取り付け用振れ止め金具 (別売品)の場合

中方立の下端に合わせて振れ止め金具を
同梱のビスで取り付けてください。



施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

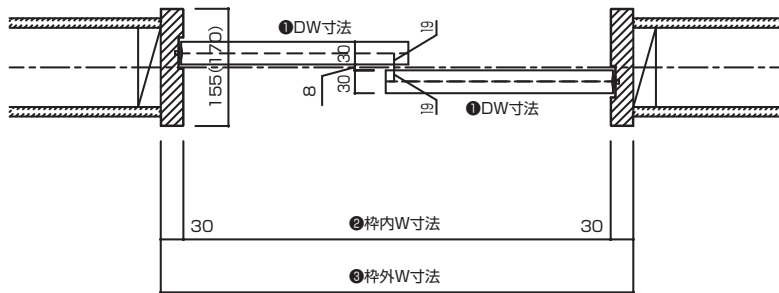
【引き違い戸】納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

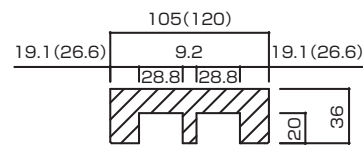
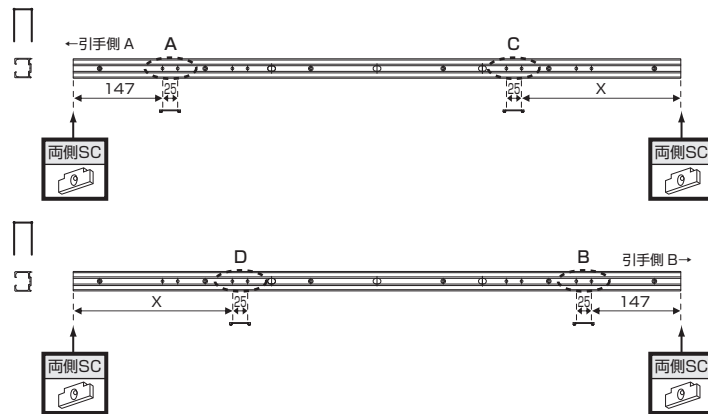
(単位:mm)

■ 枠製品寸法と納まり図

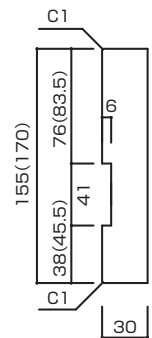


① DW寸法	900	810
② 枠内W寸法	1,764	1,584
③ 枠外W寸法	1,824	1,644
X寸法	579	489

■ レール詳細図



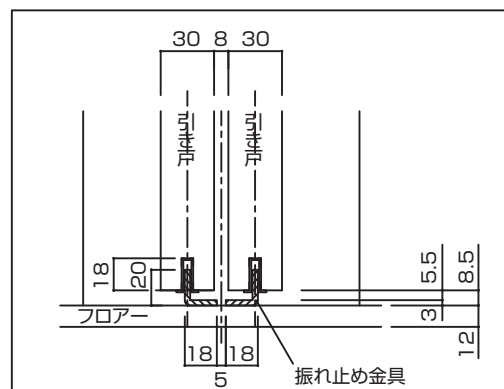
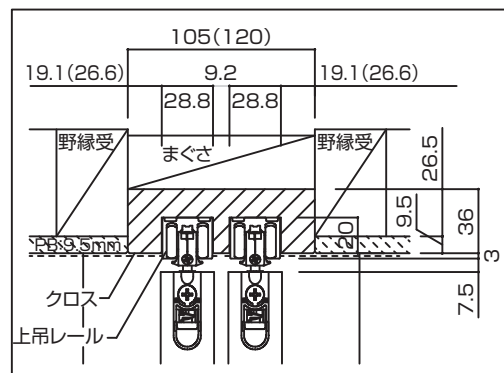
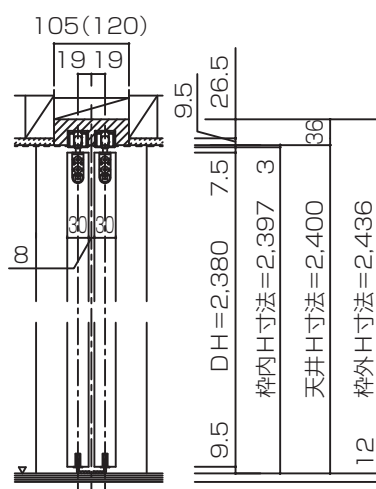
鴨居(クロス巻込枠)



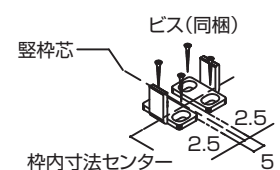
縦枠(戸先側)

縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具(床付け用)の取り付け位置

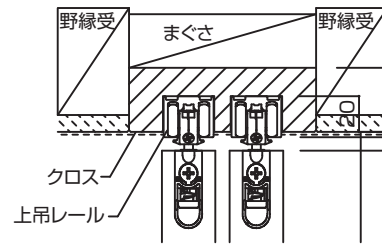
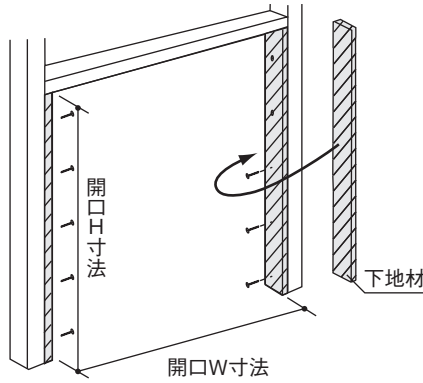


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。

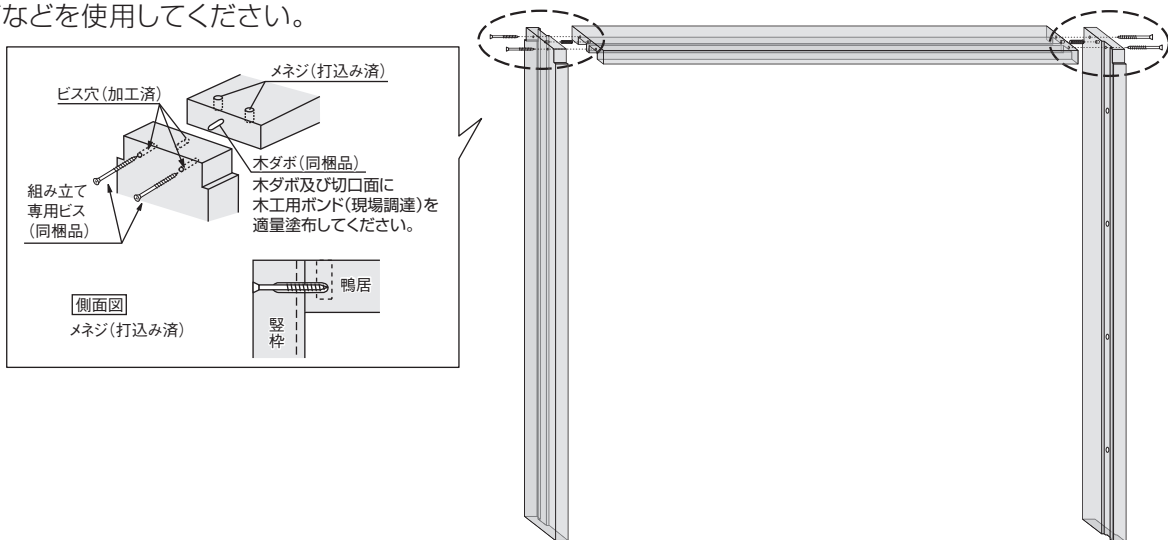


⚠ 注意 扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

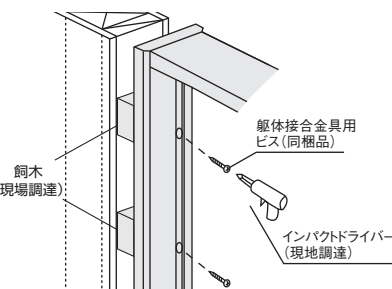
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



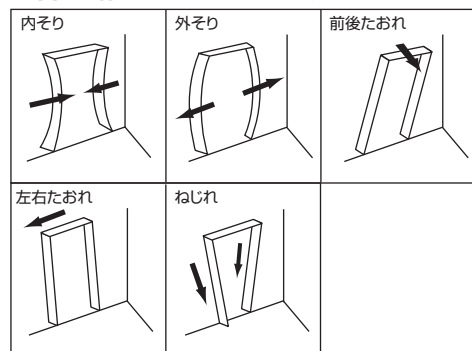
3 枠材の固定と建て付け調整

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

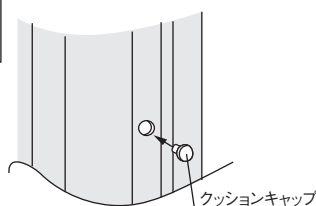
開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ねじれを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビス(同梱品)を縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。



※下記の様なことがないようにご注意ください。

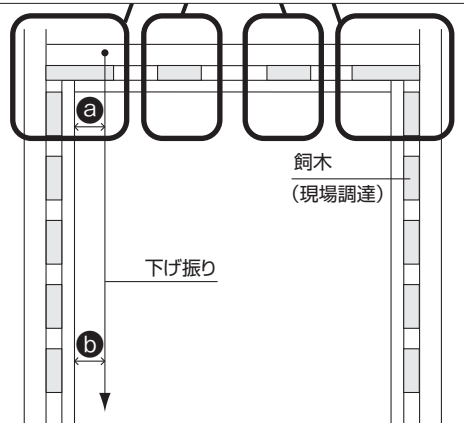


縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

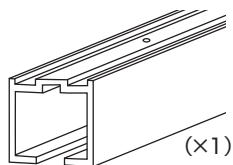
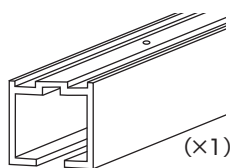


水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。

4 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

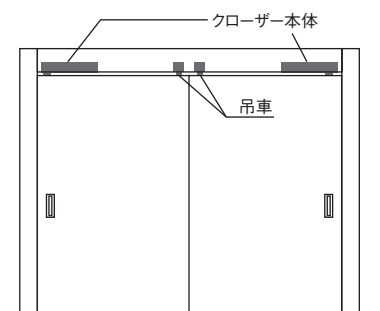
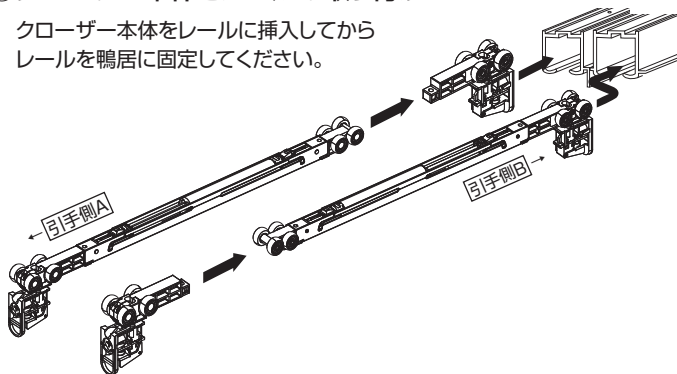
■ 鴨居レールの 取り付け



両側ソフトクローズ 仕様

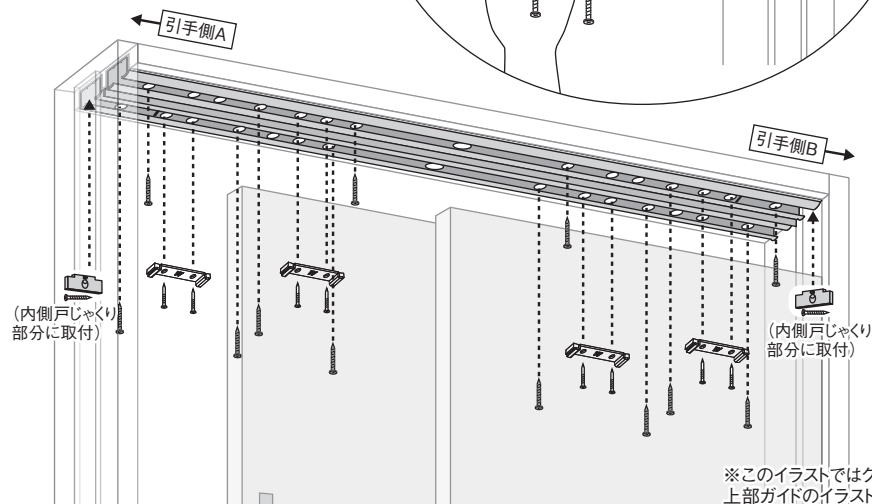
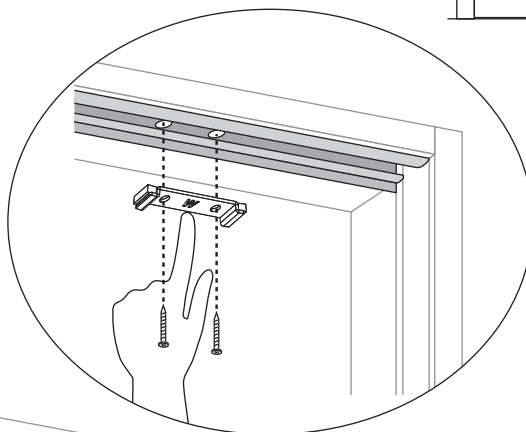
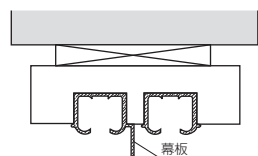
① クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



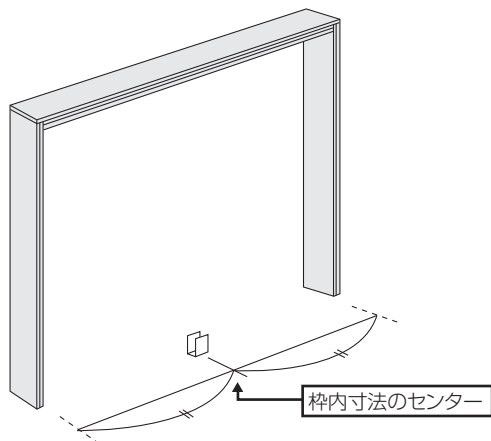
② 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて
取り付けてください。引き違い戸では片方の
レールには幕板はつきません。

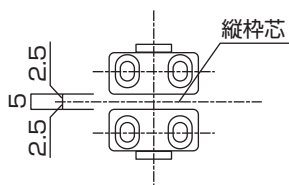


※このイラストではクローザー本体、
上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに
固定してください。



施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

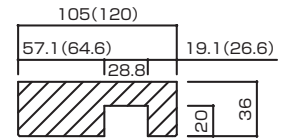
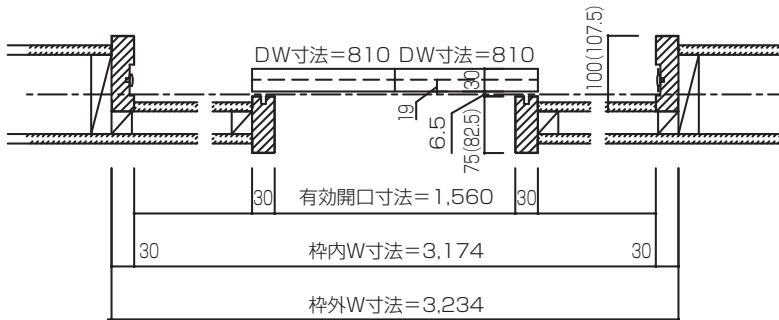
【引き分け戸】 納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

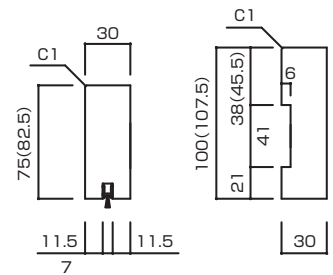
横断面図

■枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



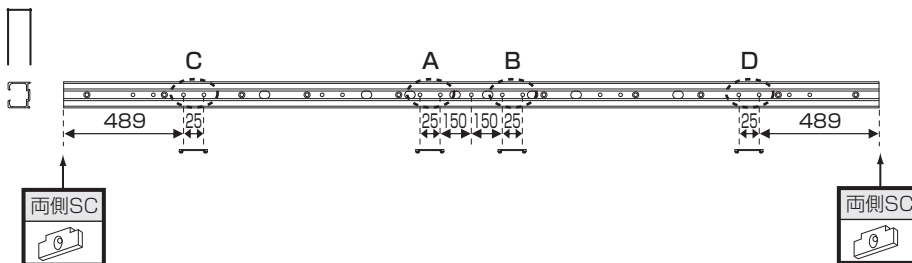
鴨居(クロス巻込枠)



中方立

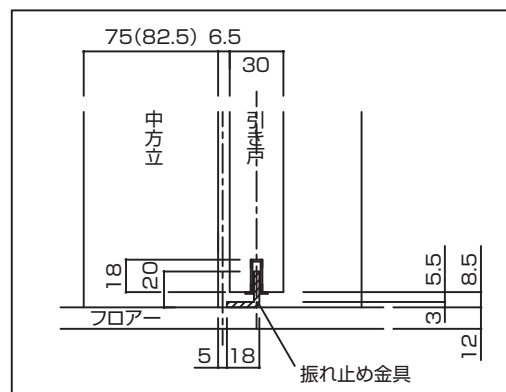
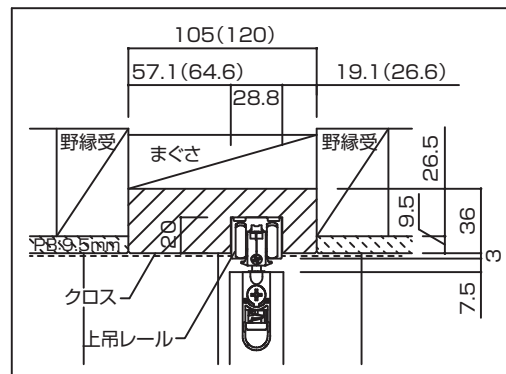
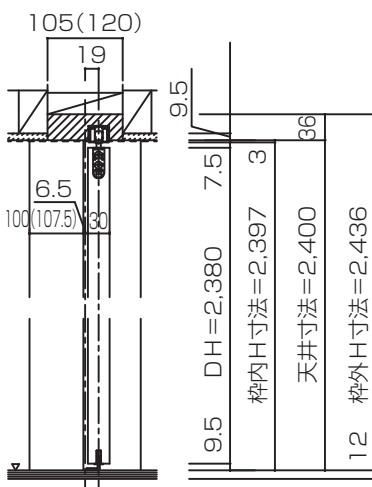
縦枠(戸尻側)

■レール詳細図

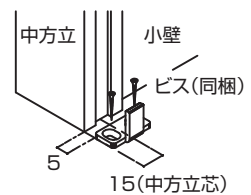


縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具(床付け用)の取り付け位置



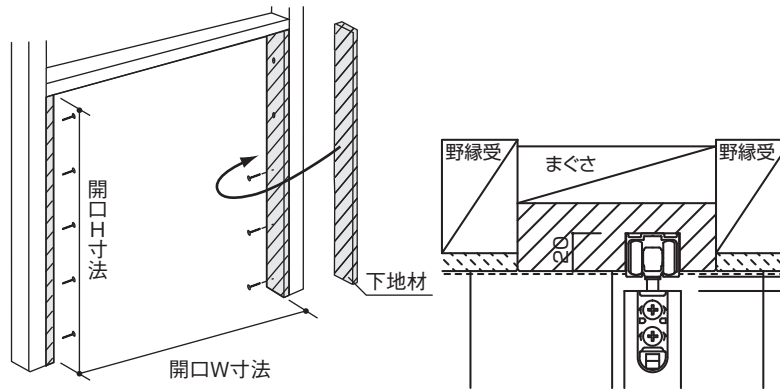
※図は右引きRLの場合

施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を
取り付け、納まり図
参照の上、枠外寸法に
見合った開口を
設けてください。



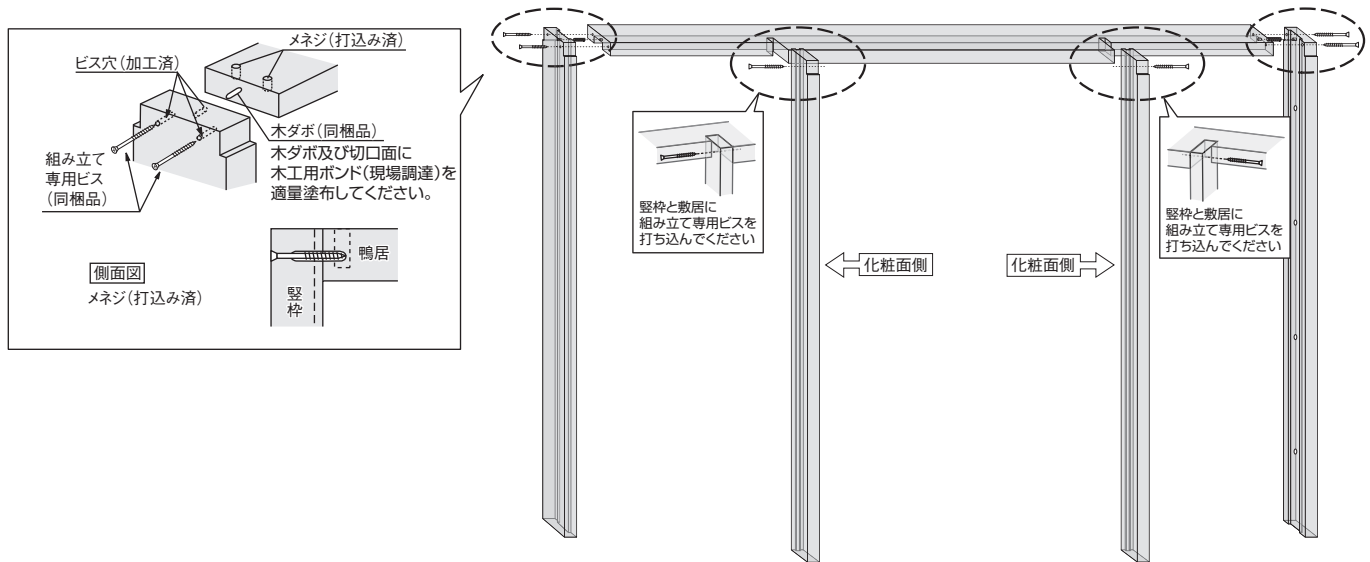
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

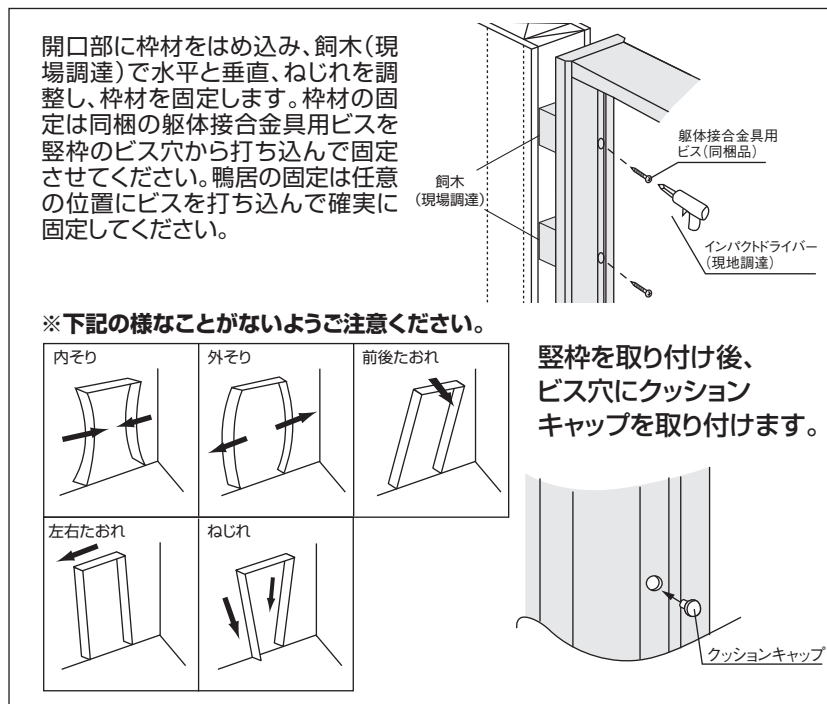
■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・木ダボなどを使用してください。



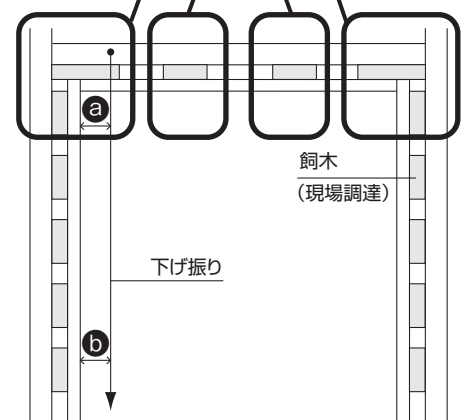
3 枠材の固定と建て付け調整

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

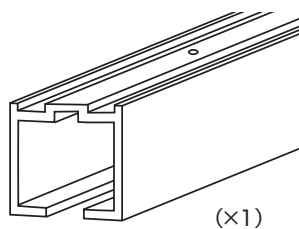


水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。

4 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

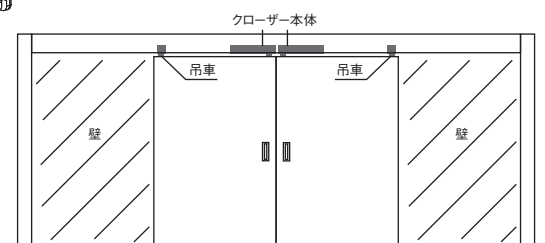
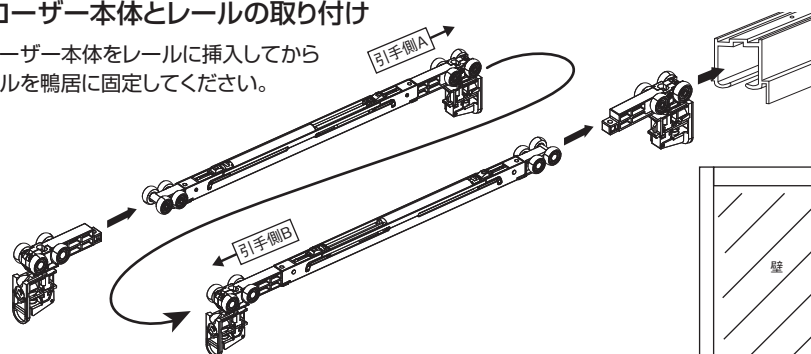
■ 鴨居レールの 取り付け



両側ソフトクローズ 仕様

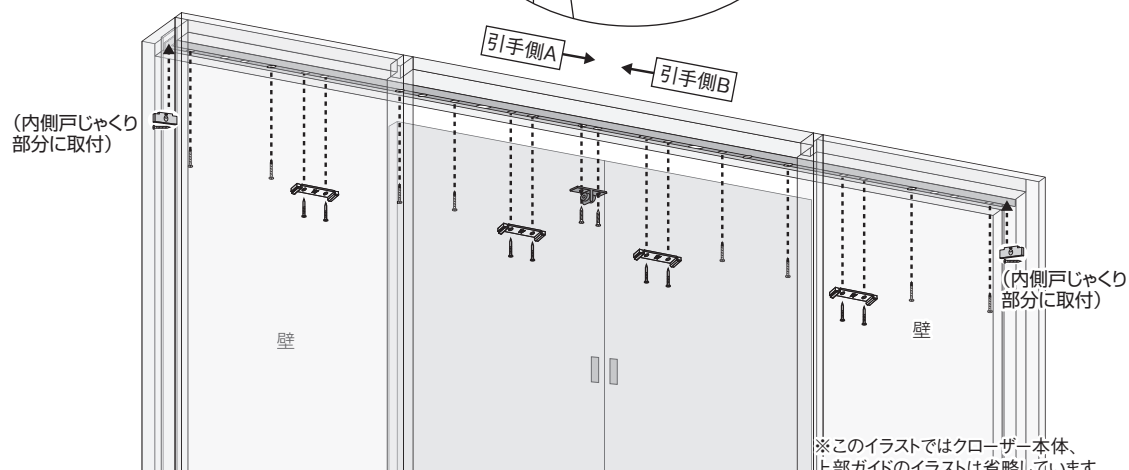
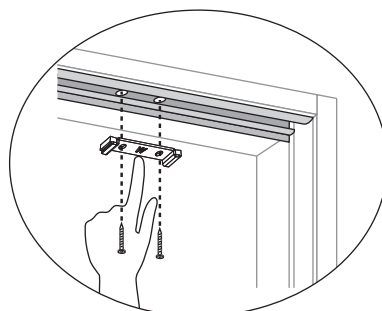
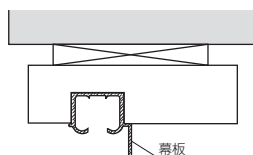
① クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



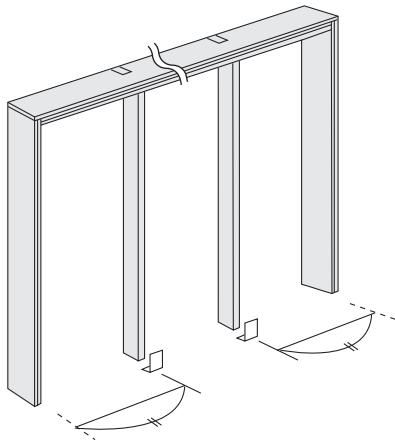
② 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて
取り付けてください。

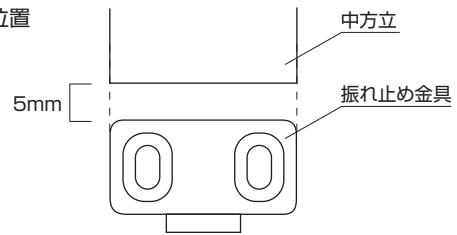


※このイラストではクローザー本体、
上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローア-に
固定してください。



施工終了後

養 生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

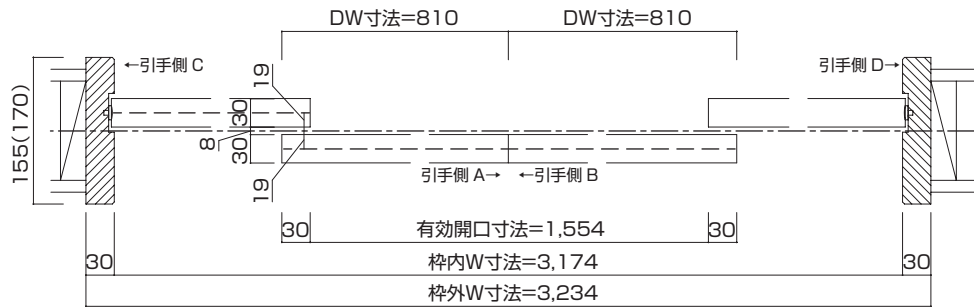
【4枚引き違い戸】納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

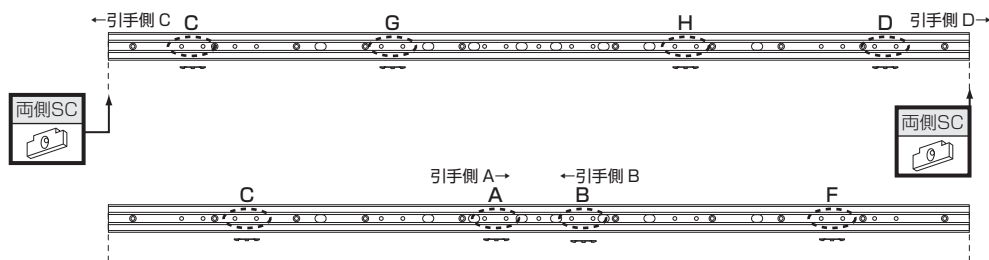
横断面図

(単位:mm)

■ 枠製品寸法と納まり図

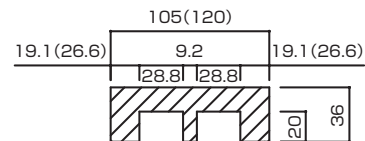


■ レール詳細図

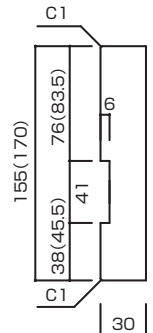


■ トリガー取り付け位置

両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D E・F・G・H
-------------	--------------------



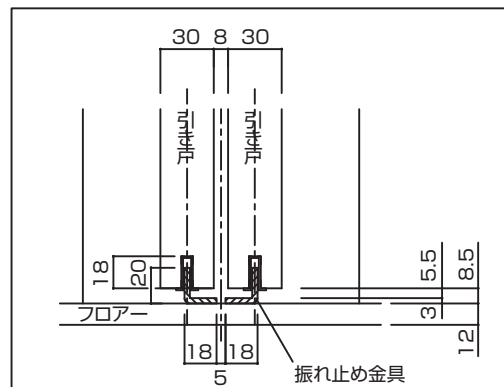
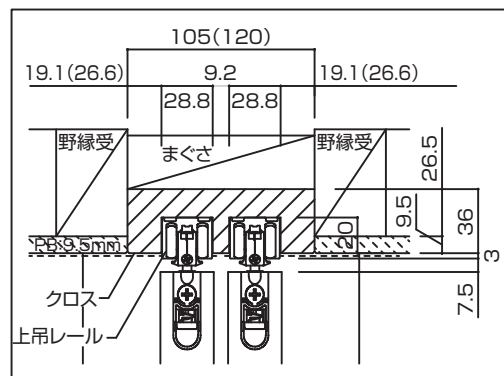
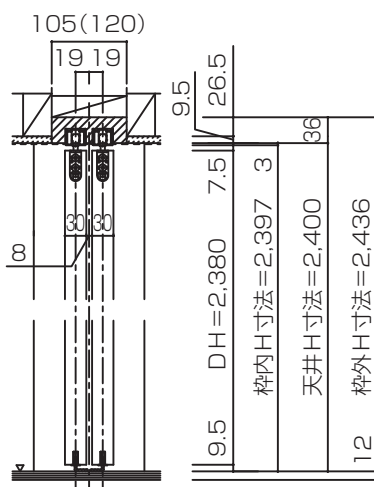
鴨居(クロス巻込枠)



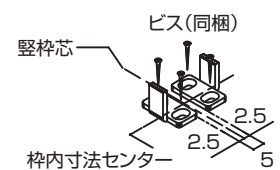
縦枠(戸先側)

縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具(床付け用)の取り付け位置

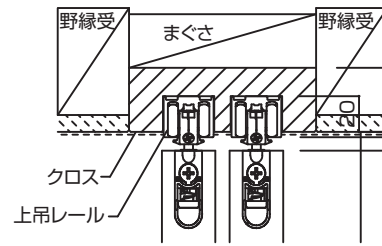
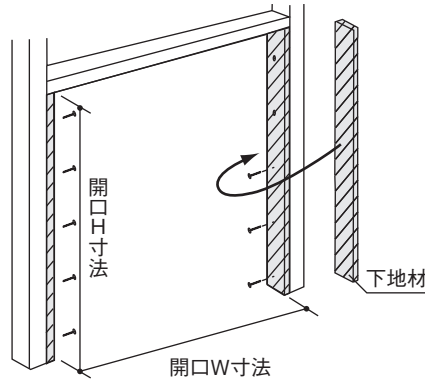


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。

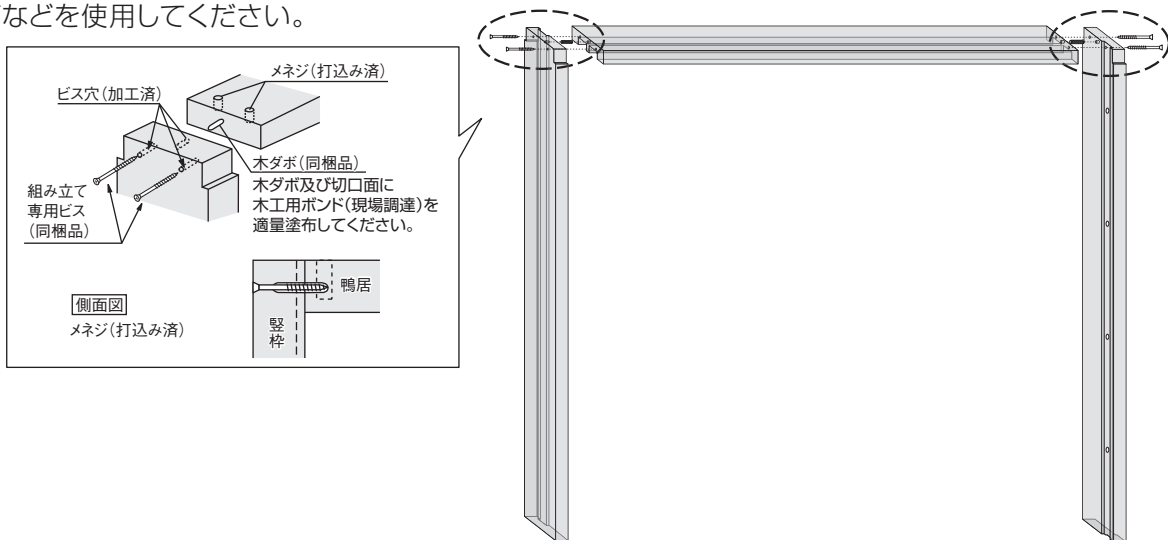


⚠ 注意 扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

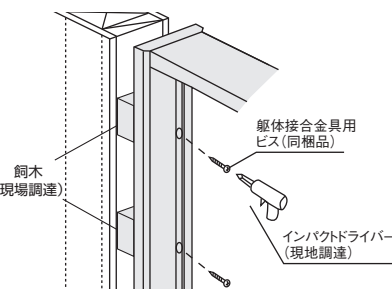
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



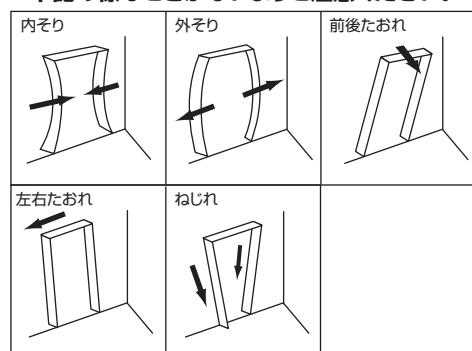
3 枠材の固定と建て付け調整

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

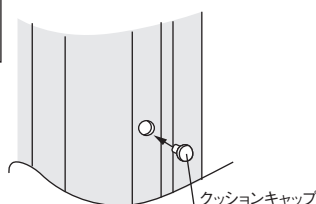
開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ねじれを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビス(同梱品)を縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。



※下記の様なことがないようにご注意ください。

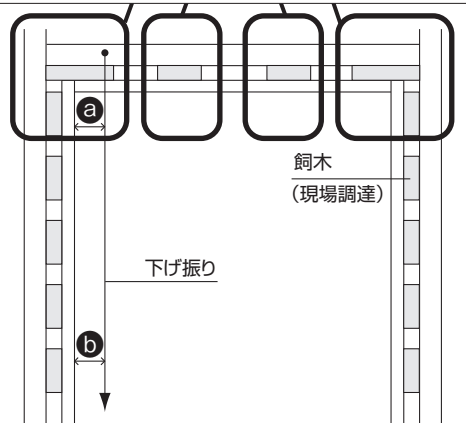


縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

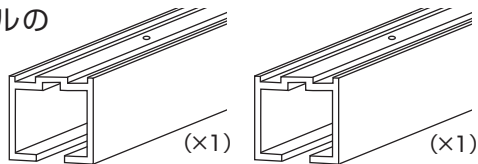


水準器などを使用し、 $a=b$ となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。

4 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■ 鴨居レールの 取り付け

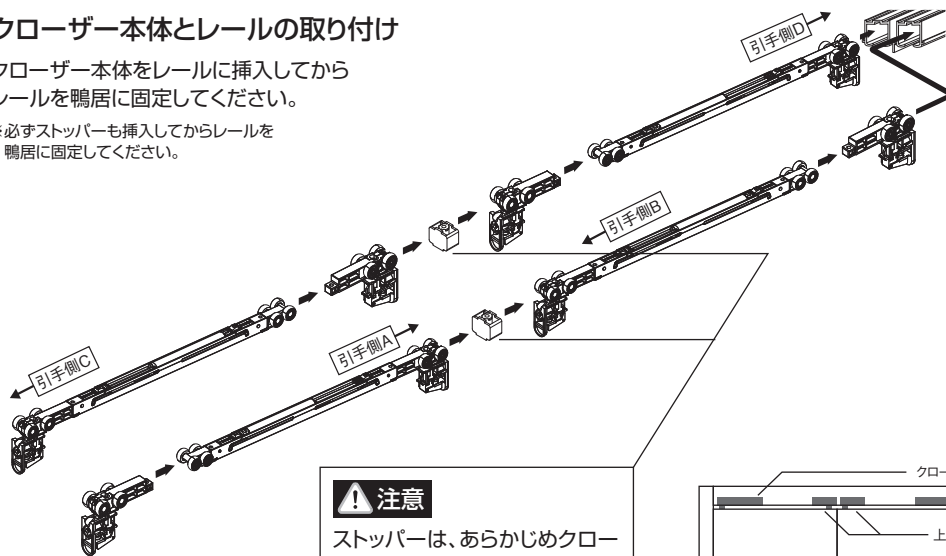


両側ソフトクローズ 仕様

① クローザー本体とレールの取り付け

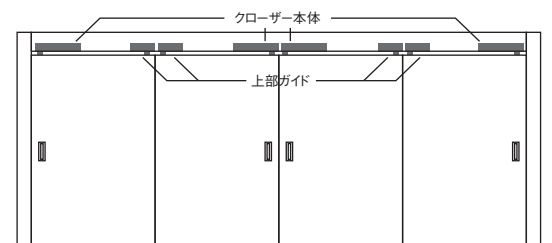
クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。

※必ずストッパーも挿入してからレールを
鴨居に固定してください。

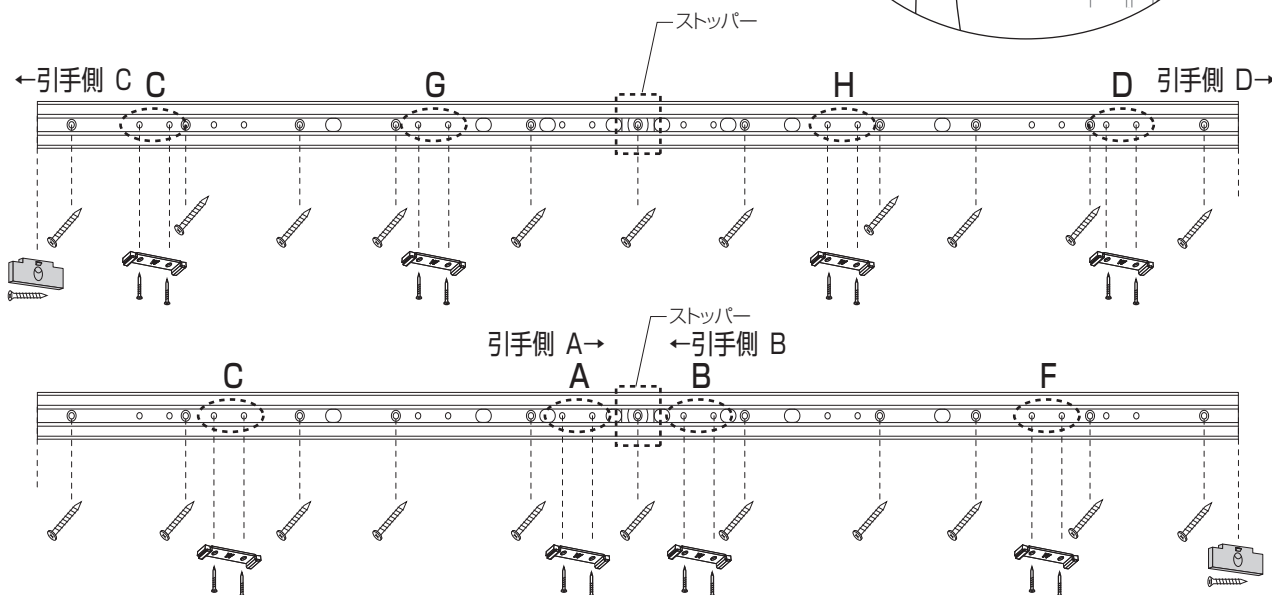
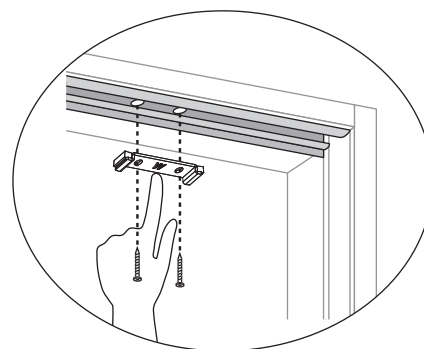
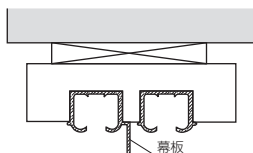


⚠ 注意

ストッパーは、あらかじめクロー
ザー本体を挿入する際にレール
内に入れておき、レール鴨居取
り付け後に、下図の位置にビス
にて固定をお願い致します。

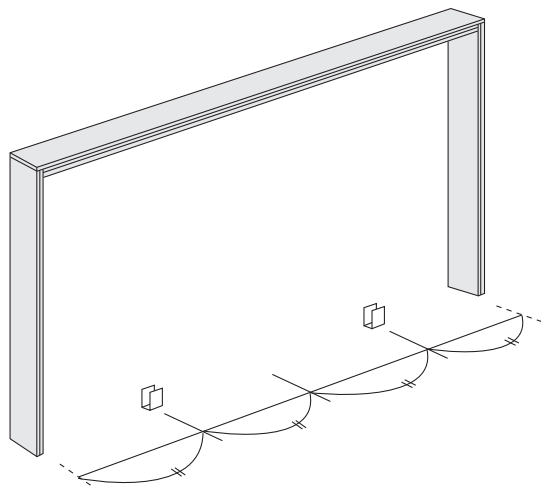


② 鴨居レールの取り付け

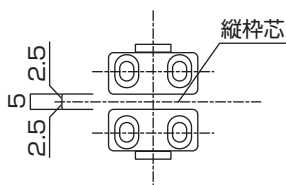


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローア-に
固定してください。



施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

